

各部会における今年度の取組みについて（中間報告）

令和 5 年 1 0 月 2 5 日

令和5年度「地域生活支援拠点等検討部会」中間活動報告について

1 開催日時

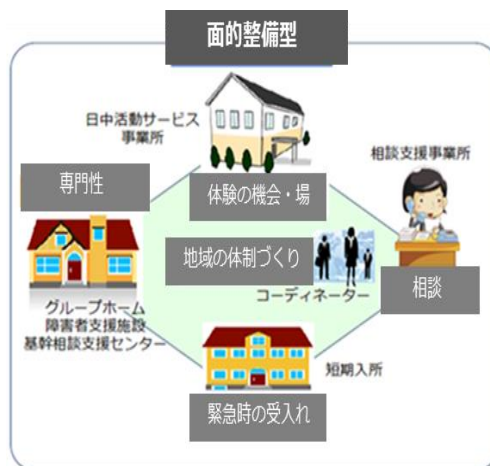
第24回地域生活支援拠点等検討部会 令和5年6月23日（金）

第25回地域生活支援拠点等検討部会 令和5年9月29日（金）

2 検討事項

障害者の高齢化、重度化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築として地域生活支援拠点等（以下「拠点」という。）を令和2年度末までに面的整備を行い、令和3年度から運用を開始しました。

今年度の当部会では引き続き、拠点の充実のため整備すべき機能の検討を進めています。



3 部会員

団体等名	氏名
医療法人 成精会	垣田 泰宏（部会長）
社会福祉法人 観寿々会	橋口 磨理子
刈谷市障害者支援センター	相澤 道子
西三河南部西地域アドバイザー	大南 友幸
刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会	間瀬 菜穂子
刈谷市社会福祉協議会	梅本 秀之
社会福祉法人 ひかりの家	武田 智枝
株式会社 悠	外山 浩章
刈谷市肢体不自由児・者父母の会	藤井 孝
刈谷手をつなぐ育成会	池田 富
刈谷地域精神障害者家族会	長谷川 宏

4 検討経過

今年度は、令和4年12月に実施した運営評価の中で、評価が低かった「体験の機会・場」「専門的人材の確保・養成」機能を中心に検討を行っています。第24回部会では、体験の機会・場の機能として一人暮らし体験利用についての検討及び専門的人材の確保に向けた意見交換、事前登録の見直しを行いました。第25回部会では、引き続き一人暮らし体験利用の制度についての検討及び福祉事業所の人材確保への取組方針について検討を行いました。

回数	開催日	内容
第24回部会	6月23日	<ul style="list-style-type: none">・グループホームの体験利用について・一人暮らし体験利用について・専門的人材の確保・養成について・事前登録の見直しについて
第25回部会	9月29日	<ul style="list-style-type: none">・グループホーム体験後の効果検証について・一人暮らし体験利用の内容・制度の検討について・人材確保施策について

5 検討結果

(1) 事前登録の現状と見直し

事前登録の窓口となる各相談支援事業所と連携し、勧奨すべき対象者について整理及び勧奨の検討をしています。相談支援事業所の勧奨により、現時点で1件の事前登録に至りました。また、事前登録のタイミングについて見直しを行い、見直し後の体制について相談支援事業所へ説明を行いました。

(2) 拠点の充実のため新たに整備すべき機能について

今年度検討・整備を進めている内容の進捗状況は、ア～ウのとおりです。

ア グループホームの体験利用について

体験利用者の実績について情報共有しました。今後は、引き続き利用者への周知を図るとともに体験利用後のモニタリングやアンケート調査を行い、体験の評価や地域移行への課題等を抽出し、体験方法やプログラムの改善、地域移行への取組等を検討していきます。

イ 一人暮らし体験利用の整備について

一人暮らしの体験が可能な「体験の場」の確保を進めていくとともに体験プログラムを含めた体験制度の整備について検討しています。

ウ 専門的人材の確保・養成について

専門的人材の「確保」について検討しました。各部会員が属する法人等の人材確保策について情報共有を図るとともに取組方針等について検討しています。

6 今後の検討事項

引き続き「相談」、「緊急時の受入れ」機能の現状確認に加え、「体験の機会・場」、「専門的人材の確保・養成」機能の充実に向け検討を行います。また令和5年12月までの取組について運営評価を行います。

回	開催予定日	内容
第26回部会	3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム体験後の効果検証について ・一人暮らし体験利用の内容・制度の検討について ・人材確保施策について ・運営評価及び次年度の取組について

参考

地域生活支援拠点等で整備する5つの柱（機能）について

機能	内容
①相談	基幹相談支援センター、委託相談支援事業、特定相談支援事業とともに地域定着支援を活用してコーディネーターを配置し、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行う機能
②緊急時の受入れ・対応	短期入所を活用した常時の緊急受入体制等を確保した上で、介護者の急病や障害者の状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能
③体験の機会・場	地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能
④専門的人材の確保・養成	医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行う機能
⑤地域の体制づくり	基幹相談支援センター、委託相談支援事業、特定相談支援、一般相談支援等を活用してコーディネーターを配置し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能

令和5年度「就労支援部会」中間報告について

1 開催日時

第44回就労支援部会 令和5年 6月13日

2 部会員

団体等名	氏名
認定特定非営利活動法人 パンドラの会	坂口 伊久磨 (部会長)
特定非営利活動法人 くるくる	手嶋 雅美
パッソ刈谷校	大城 盛一郎
LITALICO ワークス刈谷	竹内 勇太
刈谷市障害者支援センター	梶 佳稔
西三河南部西障害者就業・生活支援センター	川村 顕治
刈谷商工会議所	岡田 行永
刈谷公共職業安定所	志水 みゆき
愛知県立安城特別支援学校	加藤 昌子
刈谷市立刈谷特別支援学校	佐伯 忍
商工業振興課	北洞 貴康

3 報告事項

(1) 第45回刈谷市障害者自立支援協議会就労支援部会に関する報告について

第45回刈谷市障害者自立支援協議会の場で就労支援部会の取組み等について報告した内容について部会員間で共有しました。

(2) 雇用セミナーについて

今年度の障害者雇用セミナーを開催するかどうかについて意見交換を行った結果、「雇用セミナーは開催する意義のあるものであり、開催した方がよい」、「障害者の雇用促進・定着のために開催したい」等の意見があり、開催する方針を決定しました。

セミナーの具体的な内容等、詳細については、ワーキンググループを設置し、そこで検討を進めることとなりました。

(3) 就労支援に関する課題解決に向けた取り組みについて

昨年度までの部会で抽出された3つの課題解決に向けた取り組みの実施について意見交換を行いました。

ア 就労継続支援A型、B型からの一般就労促進

ハローワークの方を講師に迎え、就労支援連絡会にて求人票の見方やどのような人が相談できるのか等についての講演を依頼します。

イ ひきこもりを含む若者の就労支援

次回の就労支援部会でNPO法人ぷらっとほーむの職員にひきこもり支援の現状について講演いただきます。

ウ 学校卒業後の就労定着支援

学校卒業後、就労系サービスを利用することなく一般就労した人に対するサポートを、学校や障害者就業・生活支援センターだけで対応することが難しいという課題が出たため、プロジェクトチームにて近隣市で独自の就労定着支援の制度があるのか情報収集し、今後刈谷市としてどのように対応していくことができるのか検討を行います。

4 今後の取組み及び検討事項等

(1) 令和5年度の障害者雇用セミナーについて

ワーキンググループでの検討事項に基づいて、セミナーの内容を決定し、開催します。

(2) 就労支援に関する課題解決に向けた取組みについて

各課題について、部会員から挙げられた意見を基にして、具体的な取組みについて検討を行います。

令和5年度「相談支援部会」中間活動報告について

1 開催日時

第64回相談支援部会 令和5年5月18日（木）

第65回相談支援部会 令和5年9月14日（木）

2 部会員

団体等名	氏名
刈谷市障害者支援センター	伊澤紀明（部会長）
社会福祉法人 ひかりの家	山田哲哉
社会福祉法人 観寿々会	酒井克朗
刈谷市社会福祉協議会	日沖靖子
株式会社 悠	外山浩章
株式会社 エイト	河野尚子
西三河南部西地域アドバイザー	大南友幸

3 報告事項

(1) 相談支援部会における検討内容等

ア 刈谷市障害者自立支援協議会における相談支援部会の報告について

令和4年度における部会での検討事項とその結果及び福祉人財研修部会の新設といった自立支援協議会の体制の変更点を中心に、刈谷市より報告を行いました。

また、相談支援部会に関連する各連絡会の報告を行い、課題や困難事例、事例検討の内容を共有しました。

イ 市内相談支援事業所における事業報告について

各相談支援事業所における対応事例をそれぞれ報告、共有し、対応策を検討しました。事業所間で情報共有し、その対応について部会員で検討を行うことで対応能力の向上に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、感染防止のための臨時的取り扱いの運用に変更があったため、その対応の情報共有を行いました。具体的には、居宅等への訪問以外の方法で、サービス利用の相談業務を行えるとされていましたが、この臨時的取扱いは終了となったことなど情報共有しました。また、サービス利用者が環境の変化に対応できるよう、適切な支援内容を考える必要性について議論しました。

ウ 地域課題の検討について

令和4年度までに各部会や各連絡会で抽出された課題について、現状及び解決に至ったことを整理し、今後、引き続き解決に向けて取り組む事項について検討しました。

人材確保や相談支援体制の改善に関して、他市の事業所の状況や取組内容の情報共有があり、そうした情報を収集し刈谷市の相談事業所でも取り込むことで、課題の改善につながるのではないかという意見が挙がりました。

また、障害福祉サービスから介護保険へ移行する場合の対応についても疑問点や課題が多く挙げられました。

エ 地域生活支援拠点等事業について

相談支援部会の検討事項である地域生活支援拠点等事業における相談支援事業所の役割について、事前登録者の増加のための取組みの検討を行いました。対象となる市民へ登録を促すために、制度のパンフレットを各事業所に配置するなど、周知徹底に取り組みました。また、第65回の部会では、今年度中に登録に至った事例をもとに、課題等を共有しました。

4 今後の取組み及び検討事項等

地域生活支援拠点等事業について、今後も事前登録者の増加を目指すとともに、登録に至った事例を部会員で共有し、円滑な登録を目指します。

また、検討事項である相談支援体制について、事業所の人員不足が深刻な問題であり、報酬面や支援体制など、他市の事例を積極的に調査し取り入れるために、他市の相談支援事業所の相談支援専門員をアドバイザーとしてお招きし、知見を広げる取組みを検討しています。

令和5年度「子ども部会」中間活動報告について

1 開催日時

第24回子ども部会 令和5年7月11日（火）

2 部会員

団体等名	氏名
子育て支援課	角岡篤樹（部会長）
医療法人 成精会（地域連携室）	佐々木 広香
刈谷特別支援学校PTA	小林 歩美
安城特別支援学校PTA地区別懇談会 刈谷交流会	鈴木 美恵子
らっこちゃん親の会	宮田 志保子
刈谷児童相談センター	鈴木 雄二
刈谷市立刈谷特別支援学校	岩本 詩野
愛知県立安城特別支援学校	加藤 昌子
社会福祉法人 ひかりの家（こども発達 支援センターひかりっこ）	大南 友幸
学校教育課	清水 都世子
刈谷市社会福祉協議会（障害者支援事業 所）	三浦 敏美

3 報告事項

（1）子ども部会における検討内容等

子育て支援セミナーの開催にあたり、テーマや講師の候補等について検討しました。

テーマについては、令和4年度の「相談先が分からない」、「保護者の孤立化を防止する」等の検討内容に基づき、「障害」に限定せず、発達に不安のある方であれば誰でも参加できるようにし、保護者同士が関わり合えるような内容が望ましいという意見が出ました。

講師については、教育現場で発達に遅れがある子どもと関わる機会が多い、養護教諭、スクールカウンセラー、すこやか教室の職員や愛知教育大学で発達障害について研究されている教授も候補として名前が挙げられました。

セミナーの開催方法については、保護者同士の関わりを深めるために対面が望ましいとの意見が多く出たが、オンラインでの配信等、参加しやすいような工夫も入れられると良いのではないかという意見が出ました。

セミナーの具体的な内容等、詳細については、ワーキンググループを設置し、そこで検討を進めることになりました。

(2) 子育て支援セミナーワーキンググループにおける検討内容

8月8日(火)、9月22日(金)にセミナーの具体的な内容についての検討を行いました。

テーマについては、幅広く、多くの保護者が参加しやすいように、「進級・進学・就職」、「行き渋りの対応」という馴染みのあるものに決定しました。

講師については、障害児支援だけでなく、一般的な教育支援も把握されている経験豊富な方が良いのではないかという意見が出ました。候補として、元刈谷特別支援学校校長で現在特別支援教育アドバイザーとして活躍されている神谷建喜氏の名前が挙がりました。

また、セミナーに来場した方が多くの情報を得られるように、特別支援学校等のパンフレットや行事表等を置いたブースを会場に設置してみてはどうかという意見が出ました。検討の結果、以下の内容で決定しました。

【開催日時】令和6年1月25日(木) 午前10時～正午

【会場】刈谷市社会教育センター401研修室・501実習室(託児所)

【講師】神谷 建喜 氏

【テーマ】「子どもの進級・進学・就職」「行き渋りへの対応」

【定員】70名

(3) 所属機関の抱える課題について

刈谷市立刈谷特別支援学校、らっこちゃん親の会の2機関より、現在の障害児支援の課題について説明がありました。

ア 刈谷市立刈谷特別支援学校

重度身体障害児の特別支援学校卒業後の進路として多くの割合を占める、生活介護の事業所が少なく受入先がないことが課題である。

イ らっこちゃん親の会

学校や教員によって、特別な支援が必要な子どもの対応が異なることがあり、不平等を訴える保護者が多くいる。通常対応を案内するのではなく、最初から特別な対応を当たり前のように案内する人がいることで、トラブルが増え、保護者、支援者が疲弊してしまっているケースが増えていることが課題である。

4 今後の取組み及び検討事項等

(1) 子育て支援セミナーについて

部会やワーキンググループで広報や当日のタイムテーブル等について話し合い、セミナーを開催します。

(2) 所属機関の抱える課題解決に向けた取組みについて

各課題について、部会員から挙げられた意見を基にして、具体的な取組みについて検討を行います。

令和5年度「福祉人財研修部会」中間報告について

1 開催日時

第1回福祉人財研修部会 令和5年6月19日（月）

第2回福祉人財研修部会 令和5年8月22日（火）

2 検討事項

令和5年度から新たに設置された部会です。市内福祉事業所の人材育成・スキルアップ、障害者理解を図るために必要な研修内容（テーマ）を協議・検討及び実施手法等を構築します。

3 部会員

団体等名	氏名
刈谷市社会福祉協議会	中筋陽三（部会長）
社会福祉法人 観寿々会	橋口磨理子
社会福祉法人 ひかりの家	土井康臣
刈谷市障害者支援センター	相澤道子
株式会社 悠	外村敦子
特定非営利活動法人 くるくる	加藤正昭
S&J パンドラ	瀧川賢司
タッチ	河野尚子
放課後等デイサービス北風と太陽刈谷	安田有紀美
障がい者グループホームわかばの里	川端裕美

4 検討経過

第1回部会及び第2回部会において、「虐待防止研修」、「令和5年度下期研修」、「令和6年度研修」について研修内容及び実施手法等を検討しました。

5 実施研修（実施予定も含む）

回数	開催日	内容	申込人数	参加人数
第1回研修	7月26日	虐待防止研修	26事業所 41名	22事業所 34名
第2回研修	9月21日	虐待防止研修 （第1回研修と同内容）	35事業所 60名	28事業所 46名
第3回研修	令和6年 1月～2月	メンタルヘルス研修		

6 今後の検討事項

事業所アンケートや研修参加者へのアンケート結果を踏まえ、次年度の研修内容の選定・実施手法の検討、虐待防止研修の実施手法の検討を行います。

回	開催予定日	内容
第3回部会	12月11日	・令和6年度研修内容の選定・実施手法について ・虐待防止研修の実施手法について
第4回部会	2月26日	